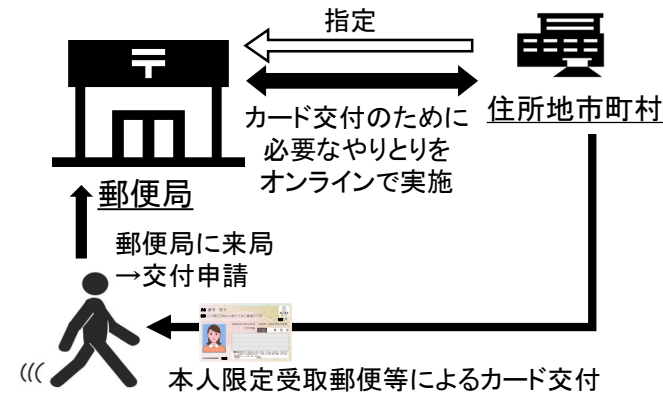


2 地域DXの推進

[1]マイナンバーカードの利便性・機能向上、円滑に取得できる環境整備、住民との接点（「フロントヤード」）の改革や自治体情報システムの標準化・共通化を通じた自治体DXの推進

(1) マイナンバーカードの利便性・機能向上

- 健康保険証や運転免許証、在留カード等の各種カードとの一体化
- 郵便局におけるマイナンバーカードの交付申請受付や電子証明書の発行及び更新
- 住民票等に氏名の振り仮名を記載し、希望者に対して、マイナンバーカードに氏名をローマ字表記するための市区町村等におけるシステム改修などを実施する。



【郵便局における交付申請受付のイメージ】

(2) マイナンバーカードを円滑に取得できる環境整備

- 市区町村における出張申請受付等の推進や交付体制の強化
- 都道府県におけるマイナンバーカードの申請促進の支援
- 暗証番号の設定が不要な顔認証専用マイナンバーカードの交付
- 1歳未満の申請に係る顔写真なしのマイナンバーカードの交付
- 特急発行・交付の仕組みの構築などを実施する。



【出張申請受付のイメージ】

【予算】	マイナンバーカード交付事業費補助金	5年度補正	59.0億円	6年度	253.9億円	(5年度	270.5億円)
	マイナンバーカード交付事務費補助金	5年度補正	542.6億円	6年度	200.4億円		
		(4年度補正	64.7億円	5年度	236.6億円)		

2 地域DXの推進

[1] マイナンバーカードの利便性・機能向上、円滑に取得できる環境整備、住民との接点（「フロントヤード」）の改革や自治体情報システムの標準化・共通化を通じた自治体DXの推進

(3) 自治体フロントヤード改革

① 総合的な改革事例の創出や横展開に向けた支援

マイナンバーカードを活用した住民との接点の多様化やそのための環境整備などを通じて、住民の利便性向上と窓口業務等の改善を図る総合的なフロントヤード改革の取組を創出し、横展開を促進する。

② 自治体フロントヤード改革推進に向けた調査研究

総合的な改革のノウハウ提供や各地方公共団体の取組状況等の団体間比較分析等を通じ、各地方公共団体でのエビデンスベースの自主的な改革を促進する仕組み等について、調査研究を実施。



【予算】自治体フロントヤード改革の支援に要する経費 5年度補正 10.2億円【新規】

2 地域DXの推進

[1] マイナンバーカードの利便性・機能向上、円滑に取得できる環境整備、住民との接点（「フロントヤード」）の改革や自治体情報システムの標準化・共通化を通じた自治体DXの推進

(4) 自治体情報システムの標準化・共通化

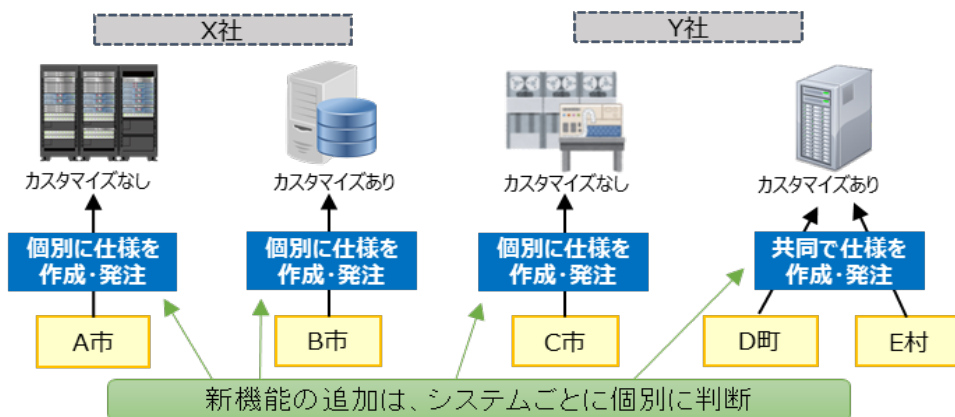
- 各地方公共団体が、標準準拠システムへ円滑かつ安全に移行できるよう、
 - 標準化対象の20業務に係る基幹業務システムについて、移行のために必要となる経費を更に支援する。
 - 標準仕様の改定や必要な工程等をまとめた手順書の改定を行うとともに、地方公共団体における進捗状況の把握・助言を行う。

【予算】 デジタル基盤改革支援補助金 5年度1次補正 5,163.1億円
 (3年度1次補正 316.8億円)

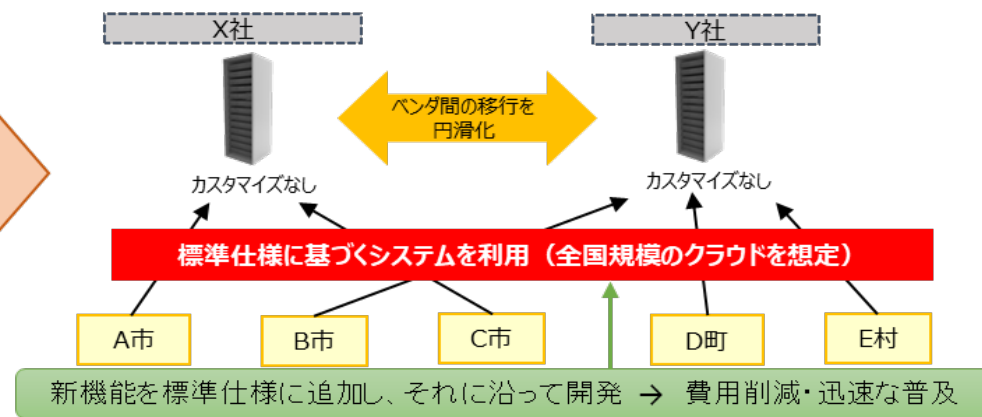
自治体における情報システムの標準化に要する経費
 2.7億円 (4年度補正 0.7億円 5年度 2.8億円)

情報システムの標準化イメージ

【標準化前】



【標準化後】



2 地域DXの推進

[1] マイナンバーカードの利便性・機能向上、円滑に取得できる環境整備、住民との接点（「フロントヤード」）の改革や自治体情報システムの標準化・共通化を通じた自治体DXの推進

（5）セキュリティ

- 地方公共団体の業務システムの標準化・共通化を踏まえたガバメントクラウドの利活用や、新しい住民サービスの提供、高度化・巧妙化しているサイバー攻撃への対応を可能とするため、最新のセキュリティ関連技術の動向や地方公共団体の実態の調査を行い、最適なネットワーク構成となるような地方公共団体の情報セキュリティ対策の在り方について検討を行う。

【予算】 地方公共団体の情報セキュリティ対策の強化に要する経費 0.7億円（5年度 0.7億円）

（6）自治体DXの推進施策等に関する調査検討（自治体DX推進計画等の改定）

- 「デジタル社会の実現に向けた重点計画」等の改定状況等を踏まえ、「自治体DX推進計画」等の改定を随時行うほか、地方公共団体の優良な取組事例の横展開を通じ、国の取組と歩調を合わせた自治体DXの取組を推進。

【予算】 自治体DXの推進施策等に関する調査検討に要する経費 0.4億円（5年度 0.4億円）

2 地域DXの推進

[2] 都道府県と市町村等が連携したDX推進体制の構築・拡充の促進

(1) 都道府県と市町村等が連携したDX推進体制の構築・拡充の促進

- 都道府県と市町村等が連携した地域DXの推進体制の構築・拡充を総務省が伴走支援することで、地方公共団体が自立的にデジタル実装に取り組める持続的な支援環境を構築。

STEP 01

課題整理・取組方針の共有

- ◆各市町村の課題の洗い出し・深掘り
- ◆具体的な解決策の検討
- ◆都道府県・市町村等による課題の共有、
首長レベルでの取組方針の検討・共有

STEP 02

推進体制の構築・拡充

- ◆都道府県と市町村等の連携によるDX推進体制の構築
 - ◆都道府県と市町村等の連携に基づく地域DXに関する取組を推進
- 【想定される具体的な取組例】
- 共同宣言や協定等に基づく、定期的に情報共有を行う会議体等の設置
 - 市町村のDXの進捗状況の共有 ●共同研修、外部人材確保
 - 共同調達 ●DXの個別事業の推進

地域DXの推進体制の構築・拡充を総務省等が伴走支援

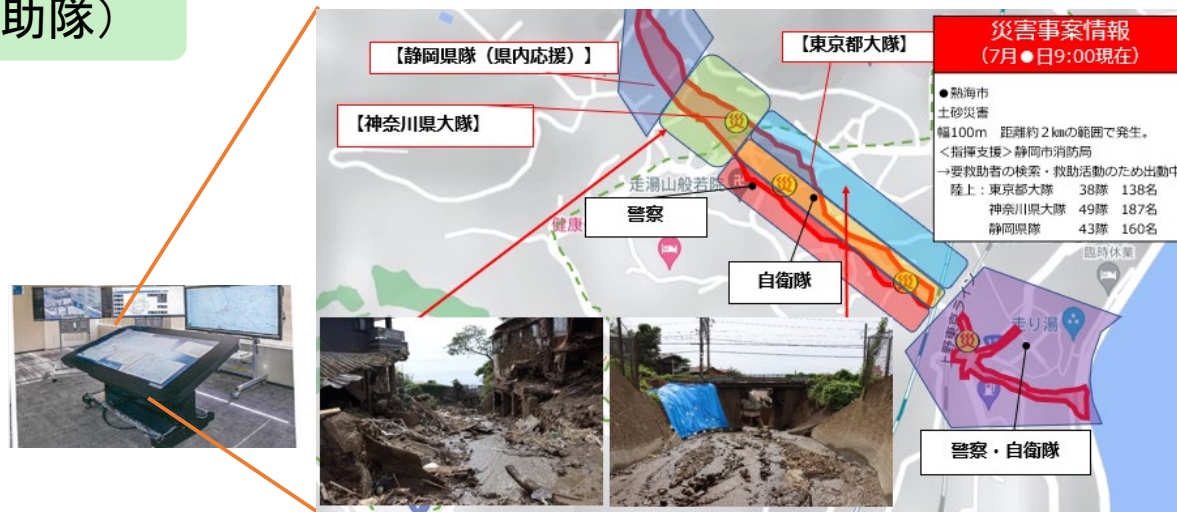
【予算】 地域デジタル基盤活用推進事業 5年度補正 47.5億円の内数

2 地域DXの推進

[3] 消防防災分野のDXの推進

(1) 消防防災分野のDXの推進（緊急消防援助隊）

- 近年における災害の激甚化・頻発化や、今後発生が予測される南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、緊急消防援助隊のより迅速・的確な活動に向け、無線等のアナログ手法に加え、映像等のデジタル手法によりリアルタイムで災害情報の収集・分析を行い指揮支援体制を強化するため、車両やDX関連資機材を整備。



【指揮支援体制の強化のための緊急消防援助隊へのDX資機材等配備（デジタル作戦卓等）】

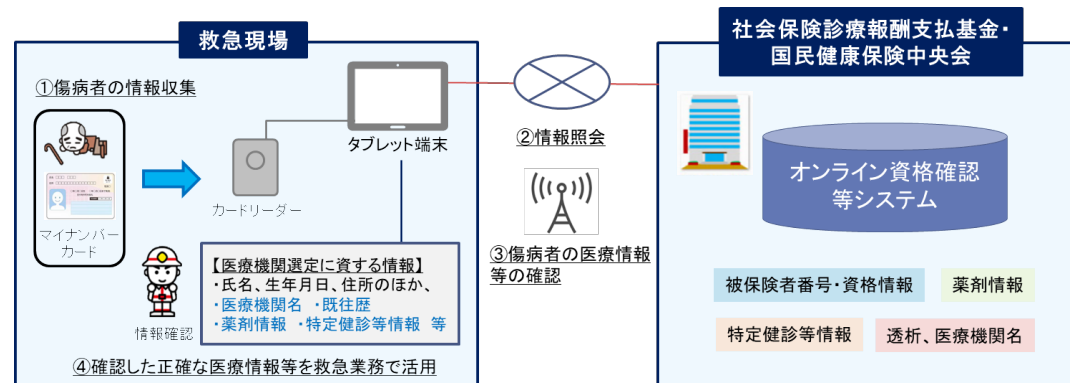
【予算】 緊急消防援助隊の機能強化に向けたDX関連資機材等の整備 5年度補正 9.1億円【新規】

2 地域DXの推進

[3] 消防防災分野のDXの推進

(2) 消防防災分野のDXの推進（常備消防）

- 救急隊が医療情報等を閲覧できるシステムの構築に向け、幅広い消防本部の参画を得て実証を行い、救急現場で活用できるシステム構築を目指す。

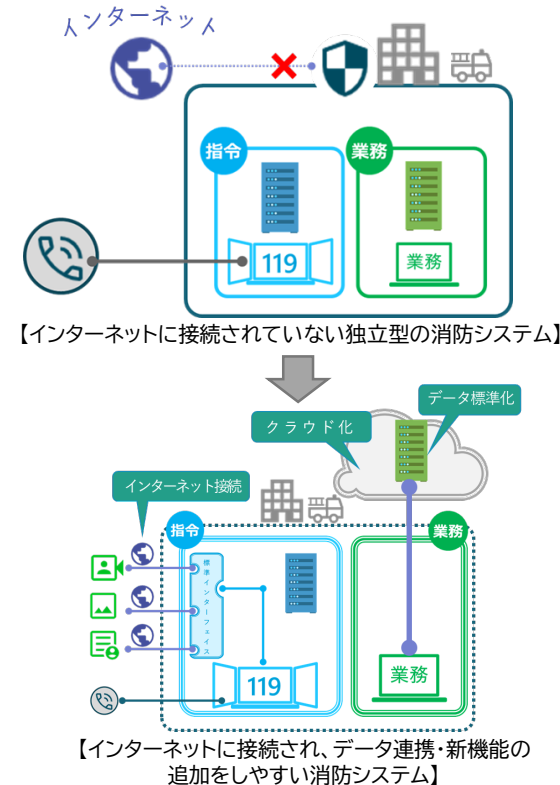


【予算】 マイナンバーカードを活用した
救急業務の迅速化・円滑化に向けたシステム構築
5年度補正 3.7億円（4年度補正 1.0億円）

- 消防指令システムにおける各種インターフェースの標準仕様を更新するとともに、消防業務システムにおけるクラウド化のための標準仕様を策定し、それらに基づき構築された各システムが稼働するよう、全国の消防本部に対し普及啓発を実施。

【予算】 高度化に対応した指令・業務システムの導入
5年度補正 1.1億円（4年度補正 4.8億円）

【事業のイメージ】



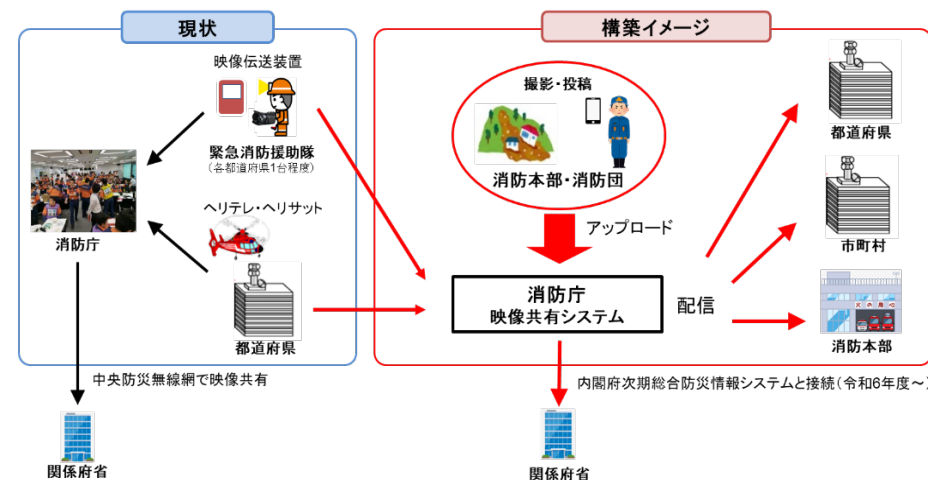
2 地域DXの推進

[3] 消防防災分野のDXの推進

(2) 消防防災分野のDXの推進（常備消防）（続き）

- 消防庁と地方公共団体、地方公共団体同士で災害の映像情報を共有する「消防庁映像共有システム」の実災害での運用及び内閣府次期総合防災情報システムとの接続に係る高度化を実施。

【予算】 消防庁映像共有システムの高度化
 0.3億円（4年度補正 0.5億円）
 ※デジタル庁一括計上予算



【消防庁映像共有システムの構築イメージ】

(3) 消防防災分野のDXの推進（消防団）

- 消防学校において消防団員に対するドローンの操縦講習及びドローンから伝達された映像情報を基にした災害対応講習を実施。

【予算】 消防団災害対応高度化推進事業
 5年度補正 0.4億円（4年度補正 0.4億円）



【消防団ドローン取扱い講習のイメージ】

2 地域DXの推進

[3] 消防防災分野のDXの推進

(4) 消防防災分野のDXの推進（火災予防対策）

- デジタル臨時行政調査会において、消火器や自動火災報知設備などの定期点検について、点検手法等が技術代替可能な場合、その旨を規制上明確化することや点検周期の延長を検討することとされたこと等を踏まえ、デジタル技術を用いた効果的な点検手法を検討。

【予算】 消防用設備等及びその点検における新技術導入の推進
0.1億円（4年度補正 0.2億円）

- 危険物施設（ガソリンスタンド等）におけるAIやIoT機器等の新技術に係る実証実験を実施し、効果的な危険物保安のあり方について検討。
- 高経年化した屋外貯蔵タンクの点検・検査等について、高度化・スマート化を図るため、デジタル技術を活用した新たな検査手法（渦電流探傷法等）に関して検討し、より効果的な予防保全等を推進。

【予算】 AI・IoT等の新技術を活用した効果的な危険物保安等のあり方の検討

0.7億円（5年度 0.6億円の内数）



【消防用設備等の定期点検のデジタル化のイメージ】



【給油取扱所におけるAIやIoT機器等の活用イメージ】

現在は従業員が安全を確認した上で給油許可を行っているところ、一定の条件下でAIが自動で給油許可

2 地域DXの推進

[3] 消防防災分野のDXの推進

(5) 消防防災分野のDXの推進 (研究開発)

- AIの活用を含めたDXに関する研究開発をはじめ、消防防災行政に係る課題解決や重要施策推進のための研究開発を推進。

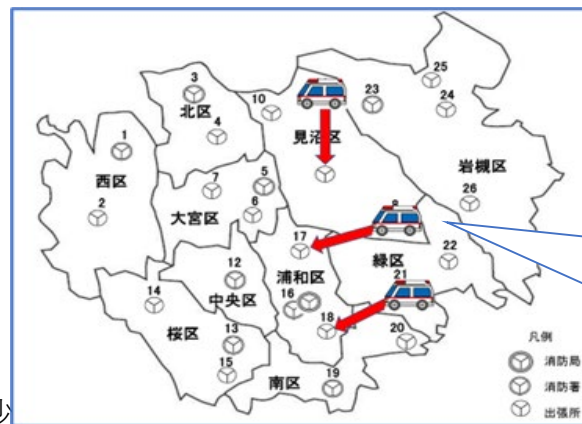
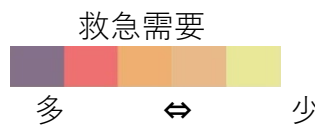
【予算】 競争的研究費の拡充
1.4億円 (5年度 1.3億円)



【競争的研究費による研究開発の一例】
現場活動支援システム(スマートマスク)
・ 赤外線映像等による活動支援
・ 隊長と隊員間での視覚画像の共有 等

- AIを活用した救急隊運用最適化による現場到着所要時間の短縮化を図るため、必要な効果シミュレーションを実施。

【予算】 AIを活用した救急隊運用最適化
5年度補正 0.3億円 (5年度 0.4億円)



救急需要が多いと予測される待機場所(消防署)に救急隊を事前に移動

【救急隊運用最適化のイメージ】